

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

- 1 傍線部①の、運営面での政府の介入について説明した部分を、本文中から1段落で抜き出し、段落の最初の3文字を書きましよう。

--	--	--

- 2 傍線部①の、財政面での政府の介入について、本文中から続きの2文で抜き出し、最初の3文字を書きましよう

--	--	--

自由と独立を守る修正を

日本学術会議を来年秋に現行の「国の特別機関」から特殊法人に移行させる法案が、民、公明両党と、日本維新の会などの賛成で衆院を通過した。立憲民主、国民民主など他の野党は反対し、学術会議は総会決議で法案修正を求めている。

①法案には運営、財源面で、政府の介入が強まると批判されても仕方がない内容が含まれる。参考人として国会に出席した梶田隆章・東大卓越教授は「学術会議の同意を得ないまま組織を変更するもので、独立性や自律性に多大な影響を与える」と苦言を呈した。

懸念を放置したままでは、科学への信頼と国の将来に禍根を残す。与野党は参院の審議で問題点を洗い出し、学問の自由と独立を守るために必要な修正を実現するべきだ。

法案は、首相が新会員を任命する

選挙方式をやめ、総会で決議する形に変える。一方で、現行法の「独立して職務を行う」の文言を削除し、政府が介入する余地を幾重にも組み込んだ。外部有識者による「選定助言委員会」が会員選挙に意見を述べ、首相が任命する「監事」や「評価委員」が業務などを監査、審議する仕組みも新設される。

現在は財源として年間約10億円の国費が予算化されているが、法案は政府が必要と認めた金額を補助するとした。政権の意向に左右され、財政基盤が不安定になる恐れが生じる。政府は「法人化で独立性が明確になる」と説明するが、学術会議側が警戒を強めるのは当然だろう。

学術会議は1949年に設立され、戦争に科学者が加担した過去への反省から、声明などで軍事研究に慎重な方針を堅持してきた。時に政

府方針と相いれない提言も辞さない学術会議木の反撃は、政府、自民党内でたびたび表面化した。

2020年には菅義偉首相(当時)が、学術会議の会員候補のうち安全保障関連法などに批判的とされた6人の任命を拒否し、対立が深まった。政府は拒否の理由を説明しないまま、「会員選挙の過程が不透明」として組織の見直しに論点をすり替えた。相互不信が高まる中で真摯な協議ができたかは疑問である。

法案には会員の解任に関する規定も設けられた。政権の意に沿わない学者の排除など任命拒否と同じことが可能になるのではないかと。

「文化国家の基礎」「平和的復興への貢献」などの理念を掲げた前文が削除されるのも気がかりだ。

研究者が権力と距離を置き、良心に基づいて真理を探究こそ、科学は進歩し社会や経済に貢献する。参院では、歴史の教訓と国の未来を見据えて学術会議の存在意義を再確認する議論が必要だ。

3 傍線部②の意味を次から選び、記号で答えましよう。

- ㊦ 深い後悔や反省が残る ㊧ 後に混乱を引き起こす
㊨ 問題を先送りにする ㊩ 問題や災いの原因を残す

--

4 学術会議がこれまで守ってきたもの、やってきたことを書いた次の文の空欄に、解答欄に合わせて本文中から10字ずつ抜き出して入れましよう。

学術会議は

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

を堅く守って

きた。

学術会議は時に、

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

意見も伝

えてきた。

NIEワークシートのこたえ（2025年5月20日公開）

◆ワークシート「学術会議法案(社会)」 2025.5.17付 朝刊 9面 社説 解答

- 1 法案は
- 2 現在は
- 3 ①
- 4 軍事研究に慎重な方針
政府方針と相いれない